

# 青少年とちぎ

平成22年7月15日

第188号

## CONTENTS

- 81%の設置率
- 理事・評議員等の紹介
- 22年度事業計画
- 賛助会費の活用
- 子育ての不安解消
- 青少年男女共同参画課寄稿
- 賛助会員・新規会員御紹介



本部事務局のスタッフ

<http://www.z-kodomo.or.jp/>

【発行】財団法人とちぎ青少年こども財団 宇都宮市駒生1-1-6とちぎ青少年センター内 TEL028-621-1611 FAX028-621-1613 E-mail:z-kodomo@circus.ocn.ne.jp

## 県内の市町村民会議のある市町



## こんなに増えた、青少年育成市町村民会議...ご御協力ありがとうございます。

平成20年9月、県内で組織されているのは12市町（39%）にすぎませんでした。しかし、この1年余の間で、なんと22市町（81%）に市町村民会議が設置されました。さらには、この号が発行された時には、設立に向けて最後の詰めを行っている市町もあります。栃木県青少年育成県民会議を担う当財団としましても、大変心強く感じているとともに、これまで設立に係わった関係者の皆様に、心より敬意を表します。いよいよ県内全市町の設置（100%）という目標も、夢ではなく現実のものとして間近に迫ってきました。

### そこで確認...今さらながら「青少年育成市町村民会議」とは？

地域における青少年育成を、総合的に推進することを目的とし、市町単位で、地域の青少年活動を中心になって実践・支援する団体です。現在、地域には「育成会」や「こども会」「PTA連絡協議会」など、様々な青少年育成関係の機関や団体が存在しています。しかしながら、青少年育成というテーマは非常に幅が広く、単一の機関や団体だけの活動では解決できません。これら全ての団体の調整を図ったり支援したり、またはまとめたりする組織として、「青少年育成市町村民会議」が位置付けられています。今後、それぞれの市町村民会議が、さらに組織として強化され、地域の枠を越えて手を結ぶなら、それは青少年育成のための大きな運動ともなります。青少年の健全な育成は、社会の発展に欠かせないものです。

市町村民会議が、ここまで形となった今こそ、市町村民会議を中心とした、地域総ぐるみによる青少年育成に力を注いでみませんか。

# (財)とちぎ青少年こども財団の役員・評議員は以下のとおりです。

(平成22年5月27日現在)

任期：平成22年4月1日～平成24年3月31日

敬称略

## 財団法人とちぎ青少年こども財団 役員

役職名	氏名	所属役職名
理事長	船橋 政従	(財)とちぎ青少年こども財団
常務理事	横山 孝	財団本部事務局長
常務理事	小林 一子	子ども総合科学館長
常務理事	新沼 隆三	とちぎ海浜自然の家所長
理事	荒川 勉	栃木県県民生活部長
理事	石原 栄子	作新学院大学女子短期大学部教授
理事	遠藤 忠	宇都宮大学教授
理事	鎌倉 三郎	宇都宮市青少年育成市民会議会長
理事	菊池 宏行	東京石灰工業(株)代表取締役社長
理事	佐藤 信	栃木県市長会代表(鹿沼市長)
理事	神宮由美子	栃木県女性団体連絡協議会長
理事	須藤 稔	栃木県教育委員会教育長
理事	高橋 英雄	元(財)栃木県青少年育成県民会議理事長
理事	高松 征雄	(福)栃木県社会福祉協議会長
理事	柳 勲	栃木県興行生活衛生同業組合理事長
理事	山中 睦夫	(社)栃木県子ども会連合会理事長
理事	横山 陽一	(財)栃木県青年会館理事長
理事	若度 哲久	栃木県PTA連合会長
監事	小林 勇治	栃木県青少年育成アドバイザー会長
監事	湯沢 孝夫	(株)足利銀行県庁内支店長

## 財団法人とちぎ青少年こども財団 評議員

役職名	氏名	所属役職名
評議員	赤羽根久夫	栃木県教育委員会事務局生涯学習課長
評議員	池田 清貴	栃木県保健福祉部子ども政策課長
評議員	石嶋 勇	栃木県少年指導委員会連合会長
評議員	伊藤 文雄	栃木県市町村教育委員会連合会代表 (同会市教育長部会副会長)
評議員	亀田 公一	栃木県書店商業組合副理事長
評議員	倉益 章	栃木県少年補導員会連絡協議会長
評議員	小松 清	栃木県労働者福祉協議会事務局長
評議員	佐々木和美	栃木県小学校長会代表 (宇都宮市立宝木小学校長)
評議員	佐藤 吉男	栃木労働局企画室長
評議員	渋江 一雄	栃木県高等学校長会代表 (栃木県立黒磯高等学校長)
評議員	島田 好正	栃木県私立中学高等学校連合会代表 (宇都宮海星女子学院校長)
評議員	関澤 繁	(社)栃木県経済同友会専務理事
評議員	高橋 文吉	栃木県議会議員
評議員	野原 佑介	栃木県青少年育成指導員会長
評議員	樋口 貴則	(社)日本青年会議所関東地区 栃木ブロック協議会長
評議員	深井 孟	栃木県職場警察連絡協議会長
評議員	増本 澄男	栃木県警察本部生活安全部少年課長
評議員	松岡千恵子	栃木県地域活動連絡協議会長
評議員	森田 良司	栃木県中学校長会代表 (上三川町立上三川中学校長)
評議員	矢野 優	栃木県青少年団体連絡協議会長
評議員	渡辺 和枝	栃木県県民生活部青少年男女共同参画課長



標高1,200m  
爽やかなみどりの空間大笹牧場によこそ  
風、空、雲、空気-----すべてが新鮮  
おいしいお食事を楽しんでいただけます  
レストハウスで舌つづみ

霧降高原道路(無料)終点  
入場・駐車無料 年中無休  
<http://www.tochiraku.or.jp/oozasa/>

**(株)大笹牧場** 〒321-2792 栃木県日光市瀬尾字大笹牧場3,405



TEL 0288-97-1116  
FAX 0288-97-1120

# 栃木県青少年指導員・栃木県青少年育成指導員名簿

栃木県が、県の総合的な青少年対策の効果的な推進を図るため委嘱し、各健康福祉センター等に配属されている青少年指導員の方々は次のとおりです。(8名 敬称略)

所属名	氏名	担当地区
県青少年男女共同参画課	丸谷 義道	河宇地区
県西健康福祉センター	星野 慎一	上都賀地区
県東健康福祉センター	阿久津正敏	芳賀地区
県南健康福祉センター	花澤 公久	下都賀地区
県北健康福祉センター	山口 政雄	那須地区
安足健康福祉センター	熊倉 繁	安足地区
矢板健康福祉センター	飯島嘉代子	塩谷地区
烏山健康福祉センター	久我 朗	南那須地区

とちぎ青少年子ども財団が、青少年育成県民運動の推進とこの運動の地域浸透を目的として、各市町に委嘱している栃木県青少年育成指導員の方々は次のとおりです。(38名 敬称略)

市町名	氏名	市町名	氏名	市町名	氏名
宇都宮市	関口 浩	市貝町	大畑 耕兵	塩谷町	斎藤 信
	松江 比佐子	芳賀町	綱川 文世	高根沢町	大嶋 洋子
"(旧河内町)	渋井 トミ子	栃木市	野原 佑介	大田原市	平野 精一
"(旧上河内町)	武田 次男	小山市	海老沼 芳男		伊藤 三良
上三川町	渡辺 喜保	壬生町	稲垣 芳三	那須塩原市	三本木 忠二
鹿沼市	手塚 勝敏	下野市	前原 保彦		橋本 秀晴
日光市	岩本 光年	野木町	渡邊 一	那須町	土田 陽吉
	滝本 明	栃木市(旧大平町)	福富 良夫	那須烏山市	高野 則雄
西方町	平野 憲一	栃木市(旧藤岡町)	福富 善明	那珂川町	薄井 忠恵
真岡市	中村 光一	岩舟町	瀬下 敏明	足利市	古川 克美
	宮川 博始	栃木市(旧都賀町)	大橋 一夫	佐野市	栗原 哲夫
益子町	竹谷 浩	矢板市	渡辺 富枝		荒居 養雄
茂木町	岡本 久美子	さくら市	鈴木 悦夫		

「誰か注意すればいいのに」  
それって自分に言いたかった言葉かもしれない。

未成年者の喫煙は、大人一人ひとりが自覚し、社会全体で取り組む問題です。

JTの活動

私たちが全国各地で「未成年者喫煙禁止協議会」の開催や「啓発キャンペーン」の実施など、地域に密着した活動に取り組んでいます。

未成年者の喫煙は法律で禁じられています。

20歳になるまで  
たばこは  
吸わせない。  
**NO!  
UNDER  
20**



# とちぎの青少年が心身ともに健やかに 成長するために取り組みます

～平成22年度事業計画・収支予算～

## 基本方針

近年の青少年を取り巻く環境の変化や県の厳しい財政状況を踏まえ、平成22年度は、財団の重点目標を次のとおりとし、次代を担う青少年が心身ともに健やかに成長するための事業の推進を図る上からも、財団としての運営が円滑に実施できるよう、全力を挙げてその推進に取り組むこととする。

- 1 市町村民会議の設置促進・連携強化について
- 2 県出資法人見直しへの対応について
- 3 公益法人制度改革への対応について
- 4 事業所の指定管理への対応について

## 事業内容

### 1 財団の運営に係る事業

財団内部の連絡調整  
諸課題の検討  
理事・評議員の事業所調査

### 2 青少年健全育成事業

(予算総額 16,004千円)  
市町村民会議との連携強化・設置促進  
青少年の自立と社会参加活動の促進  
青少年育成県民運動推進体制の整備

### 3 「とちぎ未来クラブ」事業

(予算総額 26,422千円)

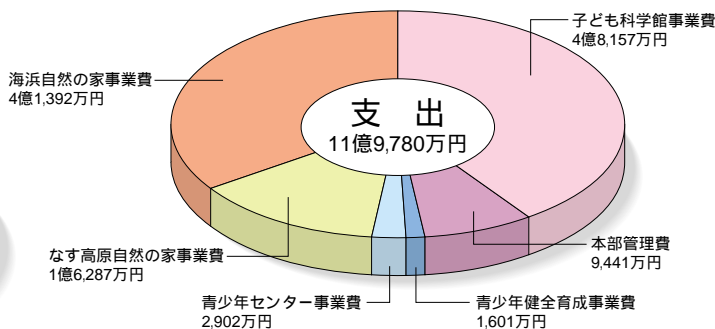
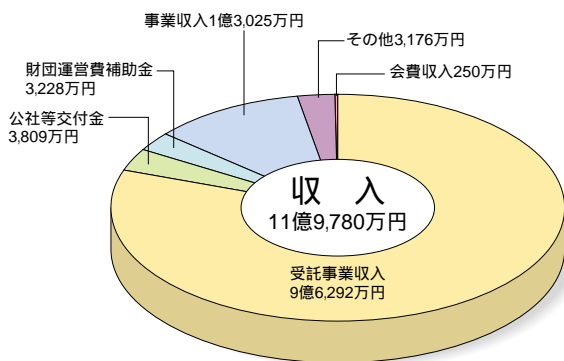
とちぎ出会いサポート事業(結婚支援事業)  
「とちぎ笑顔つぎつぎカード」事業  
(とちぎ子育て家族応援事業)

### 4 各事業所管理運営事業

とちぎ青少年センター  
(予算総額 29,016千円)  
管理運営事業  
利用促進広報事業  
わくわくグランディ科学ランド  
(予算総額 481,574千円)  
魅力的な事業展開  
学校、児童館等との連携強化  
とちぎ海浜自然の家  
(予算総額 413,922千円)  
教育施設としての機能の充実  
親しみのもてる施設としての機能の充実  
なす高原自然の家  
(予算総額 162,870千円)  
受入事業の充実  
主催事業の充実  
ボランティアの活用



## 平成22年度収支予算(とちぎ未来クラブを除く)



# 青少年健全育成事業へのご支援ありがとうございます

## 賛助会費について

賛助会員の皆様からご支援いただいた賛助金 2,710,000（円）につきましては、主に右の諸活動に活用させていただきました。

## 賛助会員募集のお知らせ

当財団では、県民をあげて栃木県の青少年の健全育成を図る土壌づくりを更に進めたいと考えております。

賛助会員の皆様からの賛助会費は、貴重な財源として活動経費に充てさせていただきます。

当財団の目的に賛同し、賛助会費を納めていただける個人または団体（企業）を募集しております。より多くの皆様のご協力をお願いいたします。

### 個人会員

1口以上とし、1口は 3,000円（年会費）

2口は 5,000円（ " ）

### 団体会員

1口以上とし、1口は10,000円（年会費）

## 平成21年度事業概要

事業名	経費（円）
少年の主張発表大会事業 地区大会（8地区）、県大会	718,000
啓発資料作成事業 機関誌「青少年とちぎ」作成 「家庭の日」啓発チラシ作成等	600,000
育成指導員活動支援事業・市町村民会議支援事業 活動支援・研修会支援 連絡会議開催、設立促進業務	595,000
親子学び合い事業 各小・中学校での携帯電話講習会開催（20校）	384,000
青少年育成県民会議表彰事業 善行青少年、優良青少年団体、青少年成功労者、青少年成功労団体	183,000
生き生き体験活動事業 中高生のリーダー育成を図る団体への活動助成（4団体）	120,000
子どもの読書推進事業 栃木子どもの本サマースクールの主催	110,000
計	2,710,000



表彰事業



子どもの読書推進事業



少年の主張発表大会事業



親子学び合い事業





## 子育てを様々なシーンで支えます

当財団では、栃木県からの委託により以下の子育て支援事業を行っています。



### 「子育てにやさしい事業所」顕彰

子育てと仕事の両立支援のための取組の普及を図るため、優れた取組をしている事業所を表彰します。21年度は、知事賞に帝人デュボンフィルム(株)宇都宮事業所、財団会長賞に(株)カワチ薬品、ソニーケミカル&インフォメーションデバイス(株)鹿沼事業所、足利小山信用金庫が選ばれました。今年度は、**7月末日〆切で現在募集中**です。詳細については、当財団育成担当までお問い合わせ下さい。

帝人デュボンフィルム株式会社宇都宮事業所(宇都宮市)  
(従業員数: 244名 事業内容: ポリエステルフィルム製造)

育児休業法の基準を上回り最長2年間育児休業を取得できることに加え、育児休業の初日2日を有給としたり、育児休業を取得した男性従業員に記念品を贈呈するなど、育児休業の積極的な取得を進めており、女性のみならず毎年多くの男性従業員が育児休業を取得している。

さらに短時間勤務制度、フレックスタイム制度等を法の基準を上回る小学校3年まで認めていること、民間の駅前型保育所と提携したりベビーシッター派遣会社と法人契約し、従業員個人の入会金・登録料を無料とするなど、子どもの養育を支援する制度が充実していることに加え、グループ独自にワークライフバランスハンドブックを作成・配付して制度の普及に努めている。

また、家族の職場見学では、父親である従業員が案内・解説を行い、家族の交流を深めている。

### 子育て情報誌「笑顔いっぱい」の作成

子育ての不安や悩みを少しでも解消することを目的として、情報誌を作成・配布しています。21年度は、全県下の主に妊婦を対象に23,000部配布されました。

利用者の感想より

「分厚く内容の濃いもので、時間を忘れひたすら読んでしまいました。」

「特に子育てサークルや遊び場などの情報が役に立ちました。」

「子育て初心者だと不安なことや小さな疑問等も沢山あるので、こういう情報誌はありがたいです。」



### 育児情報誌「父子手帳」の作成

父親が子育てに関心を持ち、子育てに主体的に関わることができるよう、父親を対象とした育児情報等を掲載した「父子手帳」を作成・配布しています。父子手帳が配布されていない他県の方や、幼児教育や小児監護を学ぶ学生の方等からも問い合わせがあり、関心の高さがうかがえます。

利用者の感想より

「父親として、妻へのサポートと子育てへの係わりがいかに大切か考えさせられました。」

「父子手帳のことは知りませんでしたが、手にして父親になる実感がわいてきました。」



# とちぎの子ども育成憲章



## とちぎの子ども育成憲章

明日を担う子どもたちが 夢と希望を持ち  
心豊かでたくましく成長することは 県民すべての願いです

わたしたちは 子育てに積極的ににかかわり  
子どもたちをみんなで育てていく決意を込めここに憲章を制定  
します

わたしたちは

- 1 子どもたち一人ひとりを尊重し命を大切にします
- 1 子どもたちとのかかわりを深め思いやりの心をはぐくみます
- 1 子どもたちとともに 学び喜び励ましあい  
社会の一員としての自覚を育てます
- 1 一人ひとりが子どもたちの手本となるよう行動します
- 1 とちぎの豊かな自然伝統文化を守り子どもたちに引き継ぎます

憲章は前文と5つの条文からなり、前文には、目指す子ども像と育成に対する決意が示されています。5つの条文には、子どもと関わる行動指針として、5つの視点を示しています。家庭、学校、地域、職場等あらゆる場面で実践されることが期待されます。また、命を大切に、思いやりの心と社会の一員としての自覚を持った人に成長してほしいという、成長過程にある子どもたちに対する大人からのメッセージでもあります。

今後、ポスター・チラシの配布やテレビ・ラジオの放送に加え、各種会議・研修会・イベントに参加された方々に唱和していただくことなどを通して、一人でも多くの県民の方々に広めていきたいと考えています。ぜひ、とちぎの子どもを健全に育むため、家庭、職場、地域におきまして、憲章の理念・指針に沿った行動を実践していただき、また、実践していただいている方へのお力添えをするなど、御協力をよろしくお願いいたします。



憲章をもっと詳しく知りたい、もっと多くの人に広めたいという方は、下記までご連絡ください。チラシ、ポスターを用意してお待ちしております。

栃木県県民生活部青少年男女共同参画課

〒320-8501 栃木県宇都宮市埴田1-1-20

TEL028-623-3075

E-mail : seishonen-danjo@pref.tochigi.lg.jp

次代を担う栃木の子どもたちが、心豊かでたくましく成長することは県民すべての願いです。しかし、現在、懸念されている家庭や地域の教育力の低下や、ますます希薄になる人とのふれあいやつながりに加え、児童虐待や若年無業者の増加など、子ども・若者を取り巻く環境は年々厳しくなっています。

このような状況において、青少年が心身ともに健全に成長していくためには、親はもとより周りの大人がより積極的に子どもの成長に関わっていく必要があります。

そこで、県では、子どもたちを育成していく上での基本となり、また、大人の責任と自覚を促し、一人ひとりが実行していくための基本理念や行動指針として、「とちぎの子ども育成憲章」を策定し、平成22年2月に制定しました。









(財)栃木県青年会館  
 (社)栃木県専修学校各種学校連合会  
 栃木県青少年クラブ協議会  
 栃木県青少年育成アドバイザー会  
 栃木県青少年育成指導員会  
 栃木県青少年指導員会  
 栃木県青少年指導員会連絡協議会  
 栃木県青少年団体連絡協議会  
 栃木県青年国際交流機構  
 栃木県ソフトテニス連盟  
 栃木県ソフトボール協会  
 (財)栃木県体育協会  
 栃木県たばこ販売協同組合連合会  
 栃木県卓球連盟  
 栃木県地域婦人連絡協議会  
 栃木県中学校体育連盟  
 栃木県中学校長会  
 栃木県町村会  
 栃木県町村議会議長会  
 栃木県農協青年部連盟  
 (財)栃木県農業振興公社  
 栃木県農業協同組合中央会  
 栃木県ハンドボール協会  
 栃木県バスケットボール協会  
 栃木県バトミントン協会  
 栃木県バレーボール協会  
 栃木県BBS連盟  
 栃木県美容業生活衛生同業組合  
 栃木県PTA連合会  
 栃木県仏教会

(財)栃木県保健衛生事業団  
 (財)栃木県母子寡婦福祉連合会  
 (社)栃木県防犯協会  
 栃木県保育協議会  
 栃木県保護司会連合会  
 栃木県民生委員児童委員協議会  
 栃木県めん類業生活衛生同業組合  
 (社)栃木県薬種商協会  
 (社)栃木県薬剤師会  
 栃木県ユース・ホステル協会  
 栃木県ユネスコ連絡協議会  
 栃木県遊技業協同組合  
 (社)栃木県幼稚園連合会  
 栃木県ラクビーフットボール協会  
 栃木県酪農業協同組合  
 栃木県理容生活衛生同業組合  
 栃木県林業振興協会  
 栃木県レクリエーション協会  
 栃木県連合教育会  
 栃木県連合青年団  
 栃木県労働者福祉協議会  
 栃木子どもの本連絡会  
 栃木市更生保護女性会  
 栃木市青少年問題協議会  
 栃木商工会議所  
 とちぎ生涯学習文化財団  
 埋蔵文化財センター労働組合  
 栃木たばこの会  
 とちぎつばさの会  
 (株)とちぎテレビ

(株)栃木放送  
 株式会社栃木ファミリー  
 トヨタカローラ栃木(株)  
 ナ  
 那珂川町青少年育成協会  
 (株)中村製作所  
 (有)那須クリーンセンター  
 那須塩原市黒磯地区  
 更生保護女性会  
 那須南農業協同組合  
 宗教法人日蓮宗妙福寺  
 日光市更生保護女性会  
 日光市藤原・栗山地区更生保護女性会  
 (社)日本青年会議所関東地区  
 栃木ブロック協議会  
 日本生命保険相互会社宇都宮支社  
 日本たばこ産業(株)宇都宮支店  
 (社)日本盆栽協会宇都宮支部  
 日本ボーイスカウト栃木県連盟  
 ハ  
 (株)芳賀カントリークラブ  
 芳賀郡市青少年育成連絡協議会  
 はが野農業協同組合  
 株式会社華之院  
 芳賀町青少年健全育成推進協議会  
 (株)日立ビルシステム  
 東関東支社茨城支店  
 平石環境システム(株)  
 (株)福田屋百貨店  
 藤井産業(株)

藤岡町更生保護女性会  
 フジノン佐野(株)  
 平成アルミ(株)  
 平成理研(株)  
 (株)本田技研研究所四輪開発センター  
 マ  
 (株)前川製作所  
 益子町青少年育成協議会  
 (株)松井ビ・テ・オ印刷  
 (有)松屋旅館  
 水戸通信工業(株)  
 水戸緑地建設(株)  
 南那須地区更生保護女性会  
 (株)ミヤプロ  
 (社)福村井保育園  
 (株)ムロコーポレーション宇都宮工場  
 真岡市青少年健全育成連絡協議会  
 真岡ロータリークラブ  
 茂木町青少年育成協議会  
 ヤ  
 (株)ヤマグチ  
 ヤマゼンコミュニケーションズ(株)  
 (株)ユーテック  
 ユーレストジャパン株式会社  
 (株)陽南荘宇都宮グランドホテル  
 (株)吉野工業所宇都宮工場  
 ラ  
 ライオンズクラブ国際協会33-B地区

(財)とちぎ青少年こども財団では  
 「県民総ぐるみで健全なとちぎの青少年を育むために」

賛助会員を募集しています。

当財団では、昭和43年に設立された「栃木県青少年育成県民会議」を母体とし、「子ども及び青少年の福祉の増進を推進する団体」として、県と一体となり、青少年の健全育成のため、地域の組織作りや明るい家庭づくりの推進を始め、環境浄化・非行防止活動に取り組んでいます。

最近では、特に「とちぎ心のルネッサンス運動」等により、県民が心を一にして、健全な青少年を地域全体で育成していこうとする気運が生まれつつありますが、この運動を更に盛り上げるためには、地域で活発に活動をされておられる“多くの県民の皆様にも広く協賛をいただいている”という一体感の醸成が、不可欠なものと考えております。

こうしたことから、当財団では一層の賛助会員の広がり期し、県民をあげてこの青少年の健全育成を図る土壌づくりを更に進めたいと考えております。

また、賛助会員の皆様からの賛助会費は、貴重な財源として活動経費に充てさせていただいておりますが、より充実した活動の推進のために、更なる賛助会費が必要となっております。

つきましては、栃木県の青少年を更に健全に育成するために、以上の趣旨をご理解のうえ賛助会員にご入会いただき、お力添えを賜りますようお願い申し上げます。

平成22年7月15日

財団法人 とちぎ青少年こども財団  
 理事長 船橋政従

賛助会員数(平成22年5月現在)	個人	197人
	法人	230団体
年会費	個人	3,000円
	(1口) 法人	10,000円

## 新規賛助会員ご紹介



ご入会  
ありがとうございます

3月入会

4月入会

5月入会



3月入会	鈴木 誠一様	手塚 勇様	水室 清様	柴田 和幸様
福田 富一様	荒川 勉様	井澤 晃太郎様	土田 陽吉様	田辺 悦夫様
佐藤 育子様	池田 清貴様	北澤 潤様		川越 勝男様
田辺 美子様	水井 敬様	大日向 ミツ様	5月入会	井上 謙一様
千田 和昭様	秋栄堂印刷(株)様	池田 猛様	田代 隆様	とちぎ生涯学習文化財団
大森 健男様		大金 正道様	廣瀬 邦夫様	埋蔵文化財センター労働組合様
粕谷 嘉信様	4月入会	入野 佑子様	利根川 きさ子様	栃木県建設産業団体連合会様
笹沼 修二様	須田 耕一郎様	渡辺 和枝様	小林 洋規様	
野上 洋子様	須田 耕一郎様	茂呂 和巳様	松岡 千恵子様	
麻生 利正様	和田 雄次様	船橋 かず子様	藤 育 実様	

## 本部事務局はこんなメンバーです。

今、当財団本部には、職員が持ってきた赤紫とピンク色の芍薬（しゃくやく）が、きれいに生けてあります。美しさこのうえなく、青少年育成市町村民会議の設置促進をはじめ、他団体との統合再編、公益法人制度改革への対応など、多くの課題を持つ職員の心を和ませています。

芍薬を見ると思い出すのが、立てば芍薬、座れば牡丹、歩く姿は百合の花ですが、私が若い頃は、立てばパチンコ、座れば麻雀、歩く姿は馬券買い（又は、千鳥足）と、よく言われたものです。

私も、これらに一時熱中したことがあります。パチンコ・麻雀はタバコと一緒に昭和で卒業、中央競馬のG1も今やテレビ観戦のみ、アルコールだけは今でも気持ちよく飲んでいます。

また、ウォーキングに水泳、ゴルフなど健康面にも気遣うようになりました。

そんな私が、青少年の健全育成業務にタッチすることになりましたが、青少年の気持ちだけは少なくともわかるつもりであり、関係者の皆様方と連携を密にし、子どもや青少年の健全育成等に尽力したいと考えております。御支援・御協力を心からお願い申し上げます。

(財)とちぎ青少年こども財団常務理事兼事務局長 横山 孝

